学校番号	314

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新・高校生の美術１」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校美術の学習で養われた創造的な表現と鑑賞の能力をさらに伸ばし、美的直感力や発想力、構想力を培うために作品制作や作品鑑賞を行います。
・作品制作では基本的課題や練習課題を中心に、表現力や技術の基礎を学びます。日常生活の中での「美術」の影響を感じ、美術への視野を広げましょう。また、自分の納得のいくところまで突き詰める探究心を養いましょう。
・鑑賞授業では自分の気持ちを表出したり、他者の感じ方を否定せず受け止めたりといった感じ方の違いや作品に対する思いを知り、より作品を深く味わう練習をします。
・道具の扱い方、後片付け等のマナーを身に付け様々な角度から物事を考えるようにしましょう。
※作品制作の進度によっては内容を一部変更することがあります。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
【知識及び技能】
創造的な美術表現をするために、基本的な道具の使い方や表現技法を身に着けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
情報を収集し整理分析しまとめる力を高めるため、想像力を働かせ構想を練ることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
多様な表現方法や鑑賞の創造活動に意欲的に取り組み、作品や文化を理解し愛好しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な知識・技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を創意工夫している。作品を最後まで完成させることができる。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、独創的で創造的な表現の構想を練っている。 表現のために必要な情報を収集し整理、分析、まとめることができる。	多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 美術作品や美術文化などを理解しようとしている。 授業に必要な用意・片付けができ積極的に取り組もうとする姿勢が見られる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	美術Ⅰについて	【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション ・鉛筆をカッターで削る	様々な中学校での学習進度を確認し、個々の基礎能力を発揮する a:指示通りに道具を使いこなし、丁寧に作品を完成させることができる。 b:決められた範囲内で独創性を表現する工夫・構想を考えることができる。 c:他者の作品を鑑賞することで自己作品を客観的に分析することができる。また、他者の作品について感じた気持ちを言葉に表出することができる。	作業観察 完成作品	作業観察 色構成	準備片付 鑑賞
	色と形の平面構成	【デザイン】 ・鉛筆で描く ・アクリルガッシュによる色彩構成(寒と暖の表現) ・振り返りシート(鑑賞)		作業観察 完成作品	作業観察 色構成	準備片付 鑑賞
2	身近にあるデザイン	【絵画・彫刻】 ・自己アピールポスター制作 【デザイン】【鑑賞】 ・デザインの鑑賞 ・デザインの構想 ・振り返りシート(鑑賞)	身近な「美術」について考える a:　指示通りに道具を使いこなし、丁寧に作品を完成させることができる。 b:決められた範囲内で独創性を表現する工夫・構想を考えることができる。 c:他者の作品を鑑賞することで自己作品を客観的に分析することができる。また、他者の作品について感じた気持ちを言葉に表出することができる。	作業観察 完成作品	作業観察 アイディアスケッチ	準備片付 完成作品 鑑賞 振り返りシート

	360度の表現	【絵画・彫刻】 ・立体作品 ・作成計画 ・木彫道具の使用方法 ・振り返りシート(鑑賞)	身近な「美術」について考える a: 指示通りに道具を使いこなし、丁寧に作品を完成させることができる。 b:決められた範囲内で独創性を表現する工夫・構想を考えることができる。 c:他者の作品を鑑賞することで自己作品を客観的に分析することができる。また、他者の作品について感じた気持ちを言葉に表出することができる。	作業観察 完成作品	作業観察 アイディアスケッチ	準備片付 鑑賞 振り返りシート
3	「鑑賞」とは	【鑑賞】 ・抽象絵画 ・作品制作 ・分析 ・振り返りシート(鑑賞)	感じ方の違いを認める a: 指示通りに道具を使いこなし、丁寧に作品を完成させることができる。 b:決められた範囲内で独創性を表現する工夫・構想を考えることができる。 c:他者の作品を鑑賞することで自己作品を客観的に分析することができる。また、他者の作品について感じた気持ちを言葉に表出することができる。	作業観察 完成作品	作業観察 アイディアスケッチ	完成作品 鑑賞 振り返りシート
	「見る」とは	【絵画・彫刻】【鑑賞】 質感を捉えて描く ・イメージデッサン 自分の想いや想像を絵、筆跡、色を用いて表現する ・相互鑑賞 ・振り返りシート(鑑賞)	「見る」の向こう側を表現 a: 指示通りに道具を使いこなし、丁寧に作品を完成させることができる。 b:決められた範囲内で独創性を表現する工夫・構想を考えることができる。 c:他者の作品を鑑賞することで自己作品を客観的に分析することができる。また、他者の作品について感じた気持ちを言葉に表出することができる。	作業観察 完成作品	作業観察 アイディアスケッチ	完成作品 鑑賞 振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度